

特別展 写真家が捉えた

昭和

しょうわ

の 和

の

こ

と

も

平成30年 7月7日(土)

▶ 8月26日(日)

Ihei KIMURA
木村伊兵衛

Taichirō IRIE
入江 泰吉

Motoishi KUMAGAI
熊谷 元一

Ken DOMON
土門 拳

Shoji UEDA
植田 正治

Kineo KUWABARA
桑原甲子雄

Kazuwemon HIDANO
飛弾野数右衛門

Yūichi MIDORIKAWA
緑川 洋一

Hiroshi HAMAYA
濱谷 浩

Yūsuke YAMAHATA
山端 庸介

Tadafiko HAYASHI
林 忠彦

Kouji INOUE
井上 孝治

Takeji IWAMIYA
岩宮 武二

Hideo HAGA
芳賀目出男

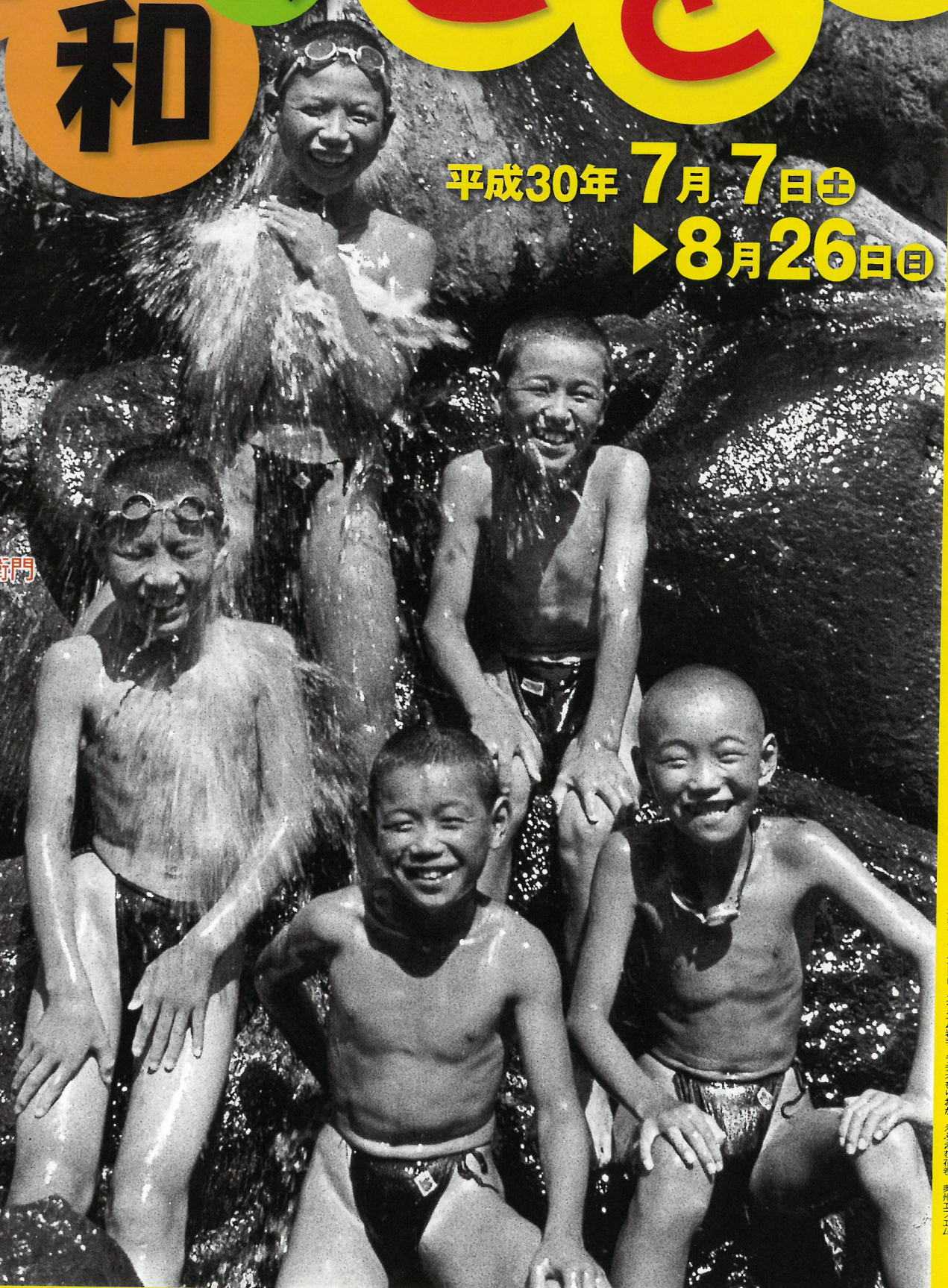
Shigeichi NAGANO
長野 重一

Masaru MUGISHIMA
麦島 勝

Takeyoshi TANUMA
田沼 武能

Keisuke KUMAKIRI
熊切 圭介

Kouichi SATOU
齋藤 康一



水浴び(上) 昭和11年

後援 岩手日報社 岩手毎日新聞社 朝日新聞盛岡支局 読売新聞盛岡支局 毎日新聞盛岡支局 産経新聞盛岡支局 河北新報社 盛岡タイムス社 サンプライムタイムス社 肥後毎日新聞 NHK盛岡放送局 IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこテレビ 岩手朝日テレビ 花巻ケーブルテレビ エフエム岩手 ラヂオもりおか えびむ花巻 奥州エフエム

【童話村の隣・宮沢賢治記念館の下にあります】

開館時間



花巻市博物館

8:30~16:30

(展示期間中休館日なし)

〒025-0014 岩手県花巻市高松26地割8番地1

TEL 0198-32-1030

入館料 一般 600円(500円) / 高校生・大学生 400円(300円) / 小・中学生 250円(150円)
※65歳以上の方は400円(350円)です ※()内は20名以上の団体料金です
※特別展のチケットで常設展もご覧いただけます ※共通券でこども展をご覧になる場合は、差額の200円をいただきます
※市内の小・中学生はキャンパスカードの提示で常設展・こども展とも無料でご覧いただけます(小学生は同伴者1名も無料)

こどもは時代を映す鏡です。

昭和の64年(元年と末年が極端に短いため、実質62年余り)は、歴代元号最長であったばかりでなく、日中戦争から第二次世界大戦、敗戦・復興・成長とまさに疾風怒濤の時代でした。こどもたちを取り巻く生活環境も価値観も、短期間のうちにどんどん変化していきました。

戦前のこどもたちは穏やかな暮らしの中で伸びやかに暮らしていました。しかし、日中戦争がはじまると否応なしに戦時体制に組み込まれていきます。続く第二次世界大戦の戦中、そして敗戦後は、困難な時代を生き抜くことになります。親を手伝い働くこどもたちもいました。その一方で、学校生活は楽しいもので、教室には笑顔があふれ、休み時間になると校庭へ飛び出していました。戦後のベビーブームではたくさんのこどもたちが生まれ、路上で戯れ遊ぶ姿がどこでも見られたものでした。祭りの日は特別で、真剣に祭りに参加したり、夢中で遊んだりしました。その後、昭和30年代から日本は高度経済成長を遂げるようになりますが、その陰でこどもたちは様々な影響を受けていました。

本展覧会では、日本の写真史に名を遺す写真家の作品を中心に、各地方で写真活動をつづけた写真家が捉えた、たくましく微笑ましい姿を含め、昭和のこどもたちの姿を展示します。

展示を見た後に、昭和の時代について、また、これからについて、たくさんの人々と語り合うきっかけとなりましたら幸いです。

はじめに 写真とは何か	第4章 楽しい学校生活
スマホやデジカメで、誰もがきれいで簡単に画像や映像を撮影できる時代になった。昭和の時代には、どのように写真が撮影・現像されて人の目に触れるようになったのかを紹介。	教室や校庭で友だちと過ごす時間や、通学・給食・野外活動などの学校生活を捉えたスナップ。
第1章 戦前のこどもたち	第5章 腕白小僧とお転婆娘
昭和初期、穏やかな暮らしの中のこどもを捉えた木村伊兵衛、土門拳、濱谷浩などの名作を中心に展示。	戦後のベビーブームで産まれたこどもたちが路上で群れ遊んでいた昭和20年代中頃から30年代頃を中心としたスナップ。
第2章 困難な時代を生きる	第6章 祭りと歳時記
日中戦争の拡大により否応なしに戦時体制に組み込まれ、敗戦後は極限状態の中で生き抜いたこどもたち。	神輿をかつぎ、祭り装束で練り歩くこどもたちや、お正月・七夕・お盆などの行事を担うこどもたち。
第3章 働くこどもたち	第7章 高度経済成長のもとで
親の仕事を手伝い、懸命に生きるこどもたちの姿。	日本が高度経済成長を遂げる昭和30年代から40年代半ばにかけて、エネルギー政策転換や、都市と地方の経済格差により、しわ寄せを受けたこどもたちのドキュメント。

イベントスケジュール

■特集展示「昭和の花巻」

昭和の花巻にまつわる写真の展示や花巻出身の人物などを紹介。

期間 平成30年7月7日(土)～8月26日(日)

場所 花巻市博物館 企画展示室(同時開催)

※特別展のチケットでご覧いただけます

■記念講演会

講師 畑中美耶子氏(もりおか歴史文化館館長、株式会社パネット代表取締役、もとIBC岩手放送アナウンサー)

演題 「岩手と花巻の昭和」

日時 平成30年7月8日(日) 13:30～14:30

場所 花巻市博物館 講座体験室

※申し込み不要・聴講無料



A

■ギャラリートーク

解説 小田桐睦弥(当館学芸員)

日時 平成30年7月22日(日)・8月12日(日) 13:30～14:15

場所 花巻市博物館 企画展示室

※申し込み不要・要入館料

■showワークショップ①「博物館de七夕」

童話村への通路に笹を設置、短冊に願い事を書いたり、七夕飾りを作ったりするなど、自由に七夕を楽しんでもらうイベント。

午前と午後の2回、当館学芸員が飾りの作り方をレクチャーする。

日時 平成30年7月7日(土) ①10:00～10:45 ②14:00～14:45

場所 花巻市博物館 講座体験室(飾りつけは童話村連絡通路)

■showワークショップ②「かんたん!風づくり」

キットを使用して簡単に風を製作する。天気が良ければ、隣の童話村で風揚げにもチャレンジ。

日時 平成30年7月14日(土) 13:30～15:30

場所 花巻市博物館 講座体験室・宮沢賢治童話村広場

※要申し込み・材料費500円

■showワークショップ③「模型飛行機をとばそう!」

キットを使用してオリジナル模型飛行機を製作する。天気が良ければ、隣の童話村で飛ばしてみよう!

日時 平成30年7月21日(土) 13:30～15:30

場所 花巻市博物館 講座体験室・宮沢賢治童話村広場

※要申し込み・材料費300円

■showワークショップ④「コマをつくって回そう!」

木製のコマがどうやって作られるのか工房を見学し、実際に色付けを体験して、できたら回してみよう!

日時 平成30年7月28日(土) 13:30～15:30

場所 花巻市博物館 講座体験室・煤孫こけし工房

※要申し込み・材料費300円

■showワークショップ⑤「プラ板キーホルダーを作ろう」

昭和の末ごろにこどもたちの間で流行したプラ板でキーホルダーをつくろう!

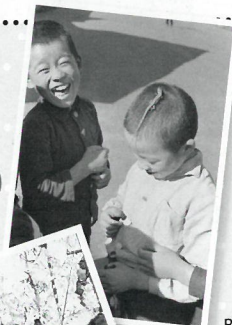
参考になるイラストを持参してもOK。

日時 平成30年8月18日(土) 13:30～15:30

場所 花巻市博物館 講座体験室

※要申し込み・材料費300円

夏休みの
工作にも
good。



B



C



D

A コッペパンをかじる(熊谷元一)昭和28年、B とかげ(土門拳)昭和30年、C 七夕飾り(土門拳)昭和29年、D 傘を回すこども(土門拳)昭和12年頃、E おしくまんじゅう(土門拳)昭和28年

お問い合わせ



花巻市博物館

〒025-0014 岩手県花巻市高松第26地割8番地1

TEL 0198-32-1030 FAX 0198-32-1050

URL <http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/hanamakishakubutukan>

E-mail museum@city.hanamaki.iwate.jp

交通案内

バス/新花巻駅→賢治記念館口

岩手県交通 土沢線 イトーヨーカドー行…約5分

花巻駅→賢治記念館口

岩手県交通 土沢線 土沢駅行…約20分

車 /花巻空港ICより…約10分

徒歩/新花巻駅より約25分



E



主催 花巻市博物館、花巻市教育委員会

企画協力 クレヴィス

後援 岩手日報社、岩手日日新聞社、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、河北新報社、盛岡タイムス社、サンデータイムス社、胆江日日新聞、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、花巻ケーブルテレビ、エフエム岩手、ラチオもりおか、えふえむ花巻、奥州エフエム